計算脳トレプリント

約分を伴う計算①

分数の計算 きまり

1. 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

1. 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

1. 約分できるところがあるかを確認する。

　　　　　　　　　　　　　　　名前

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

１０×$\left( - \frac{１}{５}\right)$

☑乗法だけの式にする

☑答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝ －$ \frac{１０×１}{５}$

＝

(－８)×$\left(-\frac{５}{１２}\right)$

＝ ＋$ \frac{８×５}{１２}$

＝

名前

**例題**

８ × $\frac{１}{４}$

＝ $\frac{８×１}{４}$

= $\frac{２}{１}$

＝ ２

２

１

$\left(-\frac{５}{６}\right)$×９

＝ －$ \frac{５×９}{６}$

＝

$\left(-\frac{２}{９}\right)$×(－３)

＝ ＋$ \frac{２×３}{９}$

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算②

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

$\left(-\frac{３}{４}\right)$×$\left(-\frac{４}{９}\right)$

☑乗法だけの式にする

☑答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝ ＋$ \frac{３×４}{４×９}$

＝

$\frac{５}{９}$×$\left(-\frac{４}{１５}\right)$

＝ － $\frac{５×４}{９×１５}$

＝

名前

**例題**

3

1

－$\frac{１０}{３}$ × $\frac{９}{１０}$

＝－ $\frac{１０×９}{３×１０}$

＝－ $\frac{３}{１}$

＝－ ３

1

1

$\left(-\frac{６}{５}\right)$×$\frac{４}{９}$

＝ － $\frac{６×４}{５×９}$

＝

$\left(-\frac{１２}{７}\right)$×$\left(-\frac{５}{２}\right)$

＝ ＋ $\frac{１２×５}{７×２}$

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算③

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

$\left(-\frac{１}{２}\right)$×$\frac{６}{５}$×$\frac{５}{９}$

☑乗法だけの式にする

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝　 　$\frac{１×６×５}{２×５×９}$

＝

$\frac{３}{８}$×$\left(-\frac{４}{７}\right)$×$\left(-\frac{４}{３}\right)$

＝ 　　$\frac{３×４×４}{８×７×３}$

＝

名前

**例題**

$\frac{9}{８}$×$\left(-\frac{４}{９}\right)$×$\left(-\frac{５}{３}\right)$

＝ $\frac{９×４×５}{８×９×３}$

＝ $\frac{５}{６}$

１２×$\left(-\frac{１}{２}\right)$×$\frac{５}{９}$

＝ 　　$\frac{１２×１×５}{２×９}$

＝

　$\left(-\frac{６}{７}\right)$×(－４)×$\left(-\frac{２}{３}\right)$

＝　　 $\frac{６×４×２}{７×３}$

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算④

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

(－１０)×$\left(-\frac{５}{６}\right)$

☑乗法だけの式にする

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝　 　$\frac{　　×　　}{}$

＝

　$\left(-\frac{４}{７}\right)$×１４

＝ 　　$\frac{　　×　　}{}$

＝

名前

**例題**

$ $(－３)×$\left(-\frac{２}{１５}\right)$×(－５)

＝－ $\frac{３×２×５}{１５}$

＝－ $\frac{２}{１}$　＝ －２

　$\left(-\frac{９}{１４}\right)$×$\left(-\frac{７}{６}\right)$

＝ 　　$\frac{　 ×　　}{×}$

＝

　$\left(-\frac{９}{１０}\right)$×$\left(-\frac{２}{３}\right)$×$\left(-\frac{５}{６}\right)$

＝ 　　$\frac{　 ×　　×　　}{×　　×}$

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑤

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

６÷$\left(-\frac{３}{２}\right)$

☑乗法だけの式にする、逆数をかける

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝６×$\left(-\frac{２}{３}\right)$

＝ $ \frac{６×２}{３}$

＝

$ \left(-\frac{２}{７}\right)$÷(－４)

＝$\left(-\frac{２}{７}\right)$×$\left(-\frac{１}{４}\right)$

＝ $ \frac{２×１}{７×４}$

＝

名前

逆数

４の逆数　→　$\frac{１}{４}$

－５の逆数　→　$\left(-\frac{１}{５}\right)$

$\left(-\frac{４}{３}\right)$の逆数　→　$\left(-\frac{３}{４}\right)$

$\frac{８}{９}$÷$\left(-\frac{３}{２}\right)$

＝ $\frac{８}{９}$×$\left(-\frac{２}{３}\right)$

＝ $ \frac{８×２}{９×３}$

＝

$\frac{３}{２}$÷$\left(-\frac{５}{７}\right)$

＝ $\frac{３}{２}$×$\left(-\frac{７}{５}\right)$

＝ $ \frac{３×７}{２×５}$

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑥

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

□乗法だけの式にする、逆数をかける

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

$\frac{２}{３}$÷$\left(-\frac{７}{３}\right)$

＝ $\frac{２}{３}$×$\left(-\frac{}{　　　}\right)$

＝ $ \frac{　×　}{　　×　　}$

＝

$\left(-\frac{２}{５}\right)$÷$\left(-\frac{３}{５}\right)$

＝ $\left(-\frac{２}{５}\right)$×$\left(-\frac{}{　　　}\right)$

＝ $ \frac{　×　}{　　×　　}$

＝

名前

逆数をかける

$\frac{２}{３}$ ÷ $\left(-\frac{５}{６}\right)$

＝ $\frac{２}{３}$ × $\left(-\frac{５}{６}\right)$

$\left(-\frac{１４}{３}\right)$÷７

＝ $\left(-\frac{１４}{３}\right)$×$\frac{}{　　　}$

＝ $ \frac{　×　}{　　×　　}$

＝

(－４)÷$\left(-\frac{２}{３}\right)$

＝(－４)×$\left(-\frac{}{　　　}\right)$

＝ $ \frac{　×　}{　　　　}$

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑦

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

$\left(-\frac{５}{３}\right)$×$\frac{７}{１５}$÷$\frac{５}{６}$

□乗法だけの式にする、逆数をかける

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝$\left(-\frac{５}{３}\right)$×$\frac{７}{１５}$×$\frac{}{　　　}$

＝ $ \frac{　　×　　×　　}{　　×　　×　　}$

＝

$\left(-\frac{８}{９}\right)$×$\frac{３}{４}$÷$\left(-\frac{１}{６}\right)$

＝$\left(-\frac{８}{９}\right)$×$\frac{３}{４}$×$\left(-\frac{}{　　　}\right)$

＝ $ \frac{　　×　　×　　}{　　×　　}$

＝

名前

**例題**

－ $\frac{１０}{３}$ ÷ 10

＝－ $\frac{１０}{３}$ × $\frac{１}{１０}$

＝－ $\frac{１０×１}{３×１０}$

＝－ $\frac{１}{３}$

(－９)÷$\frac{３}{２}$×(－３)

＝(－９)×$\frac{}{　　　}$×(－３)

＝ $ \frac{　　×　　×　　}{　　　　}$

＝

(－６)÷$\frac{９}{４}$×１０

＝(－６)×$\frac{}{　　　}$×１０

＝ $ \frac{　　×　　×　　}{　　　　}$

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑧

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

８×$\left(-\frac{５}{１２}\right)$

＝

(－４)÷$\frac{２}{３}$

＝ (－４)

＝

名前

**例題**

(－５) ÷ $\left(-\frac{５}{１２}\right)$

＝ (－５) × $\left(-\frac{１２}{５}\right)$

＝ $\frac{５×１２}{５}$　＝ １２

＝－ $\frac{１}{３}$

$\frac{４}{９}$÷$\left(-\frac{１}{３}\right)$

＝ $\frac{４}{９}$

＝

$\left(-\frac{９}{８}\right)$÷$\left(-\frac{３}{４}\right)$

＝

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算①

分数の計算 きまり

1. 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

1. 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

1. 約分できるところがあるかを確認する。

　　　　　　　　　　　　　　　名前

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

１０×$\left( - \frac{１}{５}\right)$

☑乗法だけの式にする

☑答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝ －$ \frac{１０×１}{５}$

＝－２

(－８)×$\left(-\frac{５}{１２}\right)$

＝ ＋$ \frac{８×５}{１２}$

＝　$\frac{１０}{３}$

名前

**例題**

８ × $\frac{１}{４}$

＝ $\frac{８×１}{４}$

= $\frac{２}{１}$

＝ ２

２

１

$\left(-\frac{５}{６}\right)$×９

＝ －$ \frac{５×９}{６}$

＝－$\frac{１５}{２}$

$\left(-\frac{２}{９}\right)$×(－３)

＝ ＋$ \frac{２×３}{９}$

＝　$\frac{２}{３}$

計算脳トレプリント

約分を伴う計算②

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

$\left(-\frac{３}{４}\right)$×$\left(-\frac{４}{９}\right)$

☑乗法だけの式にする

☑答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝ ＋$ \frac{３×４}{４×９}$

＝ $\frac{１}{３}$

$\frac{５}{９}$×$\left(-\frac{４}{１５}\right)$

＝ － $\frac{５×４}{９×１５}$

＝－$\frac{４}{２７}$

名前

**例題**

3

1

－$\frac{１０}{３}$ × $\frac{９}{１０}$

＝－ $\frac{１０×９}{３×１０}$

＝－ $\frac{３}{１}$

＝－ ３

1

1

$\left(-\frac{６}{５}\right)$×$\frac{４}{９}$

＝ － $\frac{６×４}{５×９}$

＝－$\frac{８}{１５}$

$\left(-\frac{１２}{７}\right)$×$\left(-\frac{５}{２}\right)$

＝ ＋ $\frac{１２×５}{７×２}$

＝ $\frac{３０}{７}$

計算脳トレプリント

約分を伴う計算③

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

$\left(-\frac{１}{２}\right)$×$\frac{６}{５}$×$\frac{５}{９}$

☑乗法だけの式にする

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝　 　$\frac{１×６×５}{２×５×９}$

＝－$\frac{１}{３}$

$\frac{３}{８}$×$\left(-\frac{４}{７}\right)$×$\left(-\frac{４}{３}\right)$

＝ 　　$\frac{３×４×４}{８×７×３}$

＝ $\frac{２}{７}$

名前

**例題**

$\frac{9}{８}$×$\left(-\frac{４}{９}\right)$×$\left(-\frac{５}{３}\right)$

＝ $\frac{９×４×５}{８×９×３}$

＝ $\frac{５}{６}$

１２×$\left(-\frac{１}{２}\right)$×$\frac{５}{９}$

＝ 　　$\frac{１２×１×５}{２×９}$

＝－$\frac{１０}{３}$

　$\left(-\frac{６}{７}\right)$×(－４)×$\left(-\frac{２}{３}\right)$

＝　　 $\frac{６×４×２}{７×３}$

＝－$\frac{１６}{７}$

計算脳トレプリント

約分を伴う計算④

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

(－１０)×$\left(-\frac{５}{６}\right)$

☑乗法だけの式にする

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝　 　$\frac{　　×　　}{}$

＝ $\frac{２５}{３}$

　$\left(-\frac{４}{７}\right)$×１４

＝ 　　$\frac{　　×　　}{}$

＝－８

名前

**例題**

$ $(－３)×$\left(-\frac{２}{１５}\right)$×(－５)

＝－ $\frac{３×２×５}{１５}$

＝－ $\frac{２}{１}$　＝ －２

　$\left(-\frac{９}{１４}\right)$×$\left(-\frac{７}{６}\right)$

＝ 　　$\frac{　 ×　　}{×}$

＝ $\frac{３}{４}$

　$\left(-\frac{９}{１０}\right)$×$\left(-\frac{２}{３}\right)$×$\left(-\frac{５}{６}\right)$

＝ 　　$\frac{　 ×　　×　　}{×　　×}$

＝－$\frac{１}{２}$

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑤

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

６÷$\left(-\frac{３}{２}\right)$

☑乗法だけの式にする、逆数をかける

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝６×$\left(-\frac{２}{３}\right)$

＝－４

$ \left(-\frac{２}{７}\right)$÷(－４)

＝$\left(-\frac{２}{７}\right)$×$\left(-\frac{１}{４}\right)$

＝ $\frac{１}{１４}$

名前

逆数

４の逆数　→　$\frac{１}{４}$

－５の逆数　→　$\left(-\frac{１}{５}\right)$

$\left(-\frac{４}{３}\right)$の逆数　→　$\left(-\frac{３}{４}\right)$

$\frac{８}{９}$÷$\left(-\frac{３}{２}\right)$

＝ $\frac{８}{９}$×$\left(-\frac{２}{３}\right)$

＝－$\frac{１６}{２７}$

$\frac{３}{２}$÷$\left(-\frac{５}{７}\right)$

＝ $\frac{３}{２}$×$\left(-\frac{７}{５}\right)$

＝－$\frac{２１}{１０}$

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑥

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

□乗法だけの式にする、逆数をかける

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

$\frac{２}{３}$÷$\left(-\frac{７}{３}\right)$

＝ $\frac{２}{３}$×$\left(-\frac{}{　　　}\right)$

＝－$\frac{２}{７}$

$\left(-\frac{２}{５}\right)$÷$\left(-\frac{３}{５}\right)$

＝ $\left(-\frac{２}{５}\right)$×$\left(-\frac{}{　　　}\right)$

＝ $\frac{２}{３}$

名前

逆数をかける

$\frac{２}{３}$ ÷ $\left(-\frac{５}{６}\right)$

＝ $\frac{２}{３}$ × $\left(-\frac{５}{６}\right)$

$\left(-\frac{１４}{３}\right)$÷７

＝ $\left(-\frac{１４}{３}\right)$×$\frac{}{　　　}$

＝－$\frac{２}{３}$

(－４)÷$\left(-\frac{２}{３}\right)$

＝(－４)×$\left(-\frac{}{　　　}\right)$

＝ ６

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑦

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

$\left(-\frac{５}{３}\right)$×$\frac{７}{１５}$÷$\frac{５}{６}$

□乗法だけの式にする、逆数をかける

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝$\left(-\frac{５}{３}\right)$×$\frac{７}{１５}$×$\frac{}{　　　}$

＝－$\frac{１４}{１５}$

$\left(-\frac{８}{９}\right)$×$\frac{３}{４}$÷$\left(-\frac{１}{６}\right)$

＝$\left(-\frac{８}{９}\right)$×$\frac{３}{４}$×$\left(-\frac{}{　　　}\right)$

＝ ４

名前

**例題**

－ $\frac{１０}{３}$ ÷ 10

＝－ $\frac{１０}{３}$ × $\frac{１}{１０}$

＝－ $\frac{１０×１}{３×１０}$

＝－ $\frac{１}{３}$

(－９)÷$\frac{３}{２}$×(－３)

＝(－９)×$\frac{}{　　　}$×(－３)

＝ １８

(－６)÷$\frac{９}{４}$×１０

＝(－６)×$\frac{}{　　　}$×１０

＝－$\frac{８０}{３}$

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑧

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

８×$\left(-\frac{５}{１２}\right)$

＝－$\frac{１０}{３}$

(－４)÷$\frac{２}{３}$

＝－６

名前

**例題**

(－５) ÷ $\left(-\frac{５}{１２}\right)$

＝ (－５) × $\left(-\frac{１２}{５}\right)$

＝ $\frac{５×１２}{５}$　＝ １２

＝－ $\frac{１}{３}$

$\frac{４}{９}$÷$\left(-\frac{１}{３}\right)$

＝－$\frac{４}{３}$

$\left(-\frac{９}{８}\right)$÷$\left(-\frac{３}{４}\right)$

＝ $\frac{３}{２}$